



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.196

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2024.7

第44回 日本静脈学会総会にて口演発表を行いました

第44回 日本静脈学会総会が、2024年6月13日（木）、14日（金）に長野県 軽井沢プリンスホテルウェストで開催されました。

4回目（2017年～）の口演発表となる今回は『**高齢下肢静脈瘤手術患者における骨格筋量の検討**』をテーマに、超高齢化社会が進む日本において注目されているフレイル（虚弱）・サルコペニア（筋肉減弱）対策に着目し、当院の高齢下肢静脈瘤手術患者におけるサルコペニア診断の必須項目である骨格筋量減少について検討し報告を行いました。

具体的には、2023年1月から12月まで当院で施行した75歳以上の高齢者のうち、一次性大・小伏在静脈瘤に対して、血管内焼灼術/血管内塞栓術/フォーム硬化療法にて本幹治療を施行し、かつ術前の骨格筋量を生体電気インピーダンス法（機種：Inbody770）にて測定した53例71肢を対象としました。サルコペニア診断基準（AWGS2019）に準じて骨格筋量指数等で比較検討を行いました。また、術前併存疾患や患側下肢筋力量などについても検討を行いました。

結果として、男女共に約4割は骨格筋量減少認めプレ・サルコペニア状態で、患側下肢の筋肉量減少も認めました。今回の検討でサルコペニアはフレイル化の最大なる要因であり、下肢静脈瘤疾患におけるサルコペニア対策は非常に重要であると考えられました。

今後も積極的に学術活動を行いながら経験、技術を培い、地域の皆様方に安全・安心、信頼される医療を提供できるよう努めて参りたいと思います。



院長

石井 洋光



(学会会場にて)

『トライやる・ウィーク』に参加協力しました

トライやる・ウィークとは、兵庫県下の中学2年生が地域の事業所などで働くことを経験し「働くことの意義」や「楽しさ、厳しさ」を学ぶ貴重な体験の場です。当院では、6月3日～6日の4日間 明石市立大蔵中学校の生徒さん2名を受け入れ「トライやる・ウィーク」に参加協力しました。

★ 参加された生徒さんの感想をご紹介します（一部抜粋） ★

あっという間の4日間でした。私の病院に対するイメージは暗い印象が強かったのですが、石井病院は明るい雰囲気、働いている方々も親切でとても過ごしやすいかったです。病院内の施設の仕組みや患者さんへの関わり方、様々なことを学ぶことができました。私は働くとはどういうことなのか、その大変さや楽しさを実際に体験できて本当に良い機会になりました。今回学んだことを忘れずに将来に生かされるように頑張ります。本当にありがとうございました。(FNさん)

石井病院の各仕事の体験や見学をしてみて、病院には患者さんが来やすく、過ごしやすい環境づくりと一つ一つの仕事にきばきと行動するということが大切だとよく伝わりました。今後の学校生活で身に付けた力を生かし、夢に向かって進んでいこうと思います。病院にはそれぞれの人に仕事があり、それを全うしているという一面を何度も見学し、たくさんの人が支え合っているおかげで病院ができているんだなと思いました。この4日間でたくさんのことに気づくことができました。本当にありがとうございました。(MKさん)



(トライやる・ウィーク開始)



(薬剤部にて)



(リハビリ見学)



(デイケア・フィットネス体験)



(放射線室：CT体験)

6月初旬兵庫県透析医会で勉強会がありました。この度は、毛細血管の重要性と、**オーラルフレイル**について講演がありました。今回は、オーラルフレイルについて説明を行います。

オーラルフレイルについてですが、「**オーラルフレイルは、口の機能の健全な状態と口の機能低下との間にある状態である**」とされています。この概念は、2024年4月1日に「オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント」にも記載があり、下図を参考にいただければと思います。



仁恵会本部事務局長 兼 人工透析ひ尿器科 じんけいクリニック 事務長
はら しんいちろう
原 真一郎



(日本老年医学会・日本老年歯科医学会・日本サルコペニア・フレイル学会合同ステートメントより抜粋)

上図に書かれておりますが、**チェック項目内2つ以上当てはまる場合はオーラルフレイルという状態になります**。「オーラルフレイル」から「健口」には比較的戻ることができるかとされていますが、更に状態が悪化し「口の機能の障害」がある場合は、「健口」に戻ることは難しいとされています。その為、オーラルフレイルを早く発見し、対応することが重要です。オーラルフレイルの対応としては、医科と歯科の両方で対応が必要となります。皆様には、かかりつけ歯科はありますか。かかりつけ歯科がある場合は、定期的な受診を行い、治療や管理を行っていると思います。「かかりつけ歯科がない・もしくはあるが受診することが困難である」等の場合は、まずはかかりつけ歯科を持つ・もしくは訪問歯科を依頼する等の方法があります。当会では、石井病院でVF(造影嚥下検査) VE(内視鏡下嚥下検査)などを行える設備と、言語聴覚士・歯科衛生士がいるため口腔ケア及び口腔リハビリを行える体制があります。もしご自身・ご家族様より上図のような症状がある・いわれたことがあると気付かれた場合は、ぜひスタッフにお声掛けいただき、オーラルフレイルから健口への改善への第一歩となる助力を行えることができると思っております。

オーラルフレイルの防止を行う為にも一度皆様には、ご自身のお口に興味を持っていただければと思います。お口のケアから始まる筋力改善や、食事改善、それに伴う生活改善をお手伝いできるような積極的に対応いたします。これからも、仁恵会透析センターは、地域の透析患者様を全力でサポートしてまいります。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 17:00
土曜 9:00 ~ 12:00
担当 井口 古門 上野 福村

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>